

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	672700309
法人名	社会福祉法人 いいで福祉会
事業所名	グループホーム ひめさゆり荘
訪問調査日	平成 20 年 11 月 10 日
評価確定日	平成 21 年 1 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月24日

【評価実施概要】

事業所番号	672700309
法人名	社会福祉法人 いいで福祉会
事業所名	グループホーム ひめさゆり荘
所在地 (電話番号)	山形県西置賜郡飯豊町大字添川3514番地82 (電 話) 0238-74-2011

評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年11月10日	評価確定日	平成21年1月7日

【情報提供票より】(平成 20年 10月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	7 人 常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 6.8人

(2)建物概要

建物形態	併設/単独○	○新築/改築
建物構造	平屋 造り	
	階建ての	階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4)利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	8 名	男性 1 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 84.7 歳	最低 81 歳	最高 92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	飯豊町国民健康保険診療所
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「安心した普通の暮らし」と「地域社会との交流」をホーム理念の中心に位置づけ、認知症のある高齢者の方でも日々の暮らしをその人らしく送ることができるように、「安全で快適な設備と住環境の提供」「グループホームの特性に配慮した職員の配置」には特に力が注がれており、また、ホーム運営法人との協働により、「地域に溶け込んだ施設」を目指す取り組みも進められているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	やむを得ず一時的に施錠をする場面もあるが、鍵をかけることの弊害が職員に理解されており、また、センサーの活用や見守りによって、利用者が安全に過ごせるよう取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は評価の意義を理解しており、各職員が評価した内容を職員全員でまとめ上げている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	今年度から運営推進会議が開催されており、今後も定期的に行う予定である。また、会議の討議内容をサービス向上に活かすため、職員全員に伝達を行っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時や運営推進会議の場で積極的に家族の意見、不満、苦情を聞くようにしており、また、職員会議や申し送り簿でその内容を共有したきめ細やかな対応がなされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	法人本体での夏祭りの開催、学生の職場体験、芸能ボランティアの訪問及び地域一般の草刈りボランティアの受け入れや地域収穫祭へ積極的に参加している。また、法人の広報誌も町内の全戸に年2回配布されており、地域交流のきっかけづくりとして役立てられている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域密着型サービス事業所としてのホーム理念をつくりあげており、ホーム玄関の目立つところに張り出している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の基本方針の柱は「安心した普通の暮らし」「地域社会との交流」であり、職員で話し合いを重ね日々実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人本体での夏祭りの開催、学生の職場体験、芸能ボランティアの訪問及び地域一般の草刈りボランティアの受け入れや地域収穫祭へ積極的に参加している。また、法人の広報誌も町内の全戸に年2回配布されており、地域交流のきっかけづくりとして役立てられている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義を理解しており、各職員が評価した内容を職員全員でまとめ上げている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度から運営推進会議が開催されており、今後も定期的に開催して行く予定である。また、会議の討議内容をサービス向上に活かすため、職員全員に伝達を行っている。		

山形県 グループホームひめさゆり荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営について町担当者から指導や助言が受けられており、またホーム側からは情報提供、問い合わせ等を行い、円滑な連携が図られている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族面会時の報告や個人ごとに作成した手書きの報告、出納帳による金銭管理状況の報告や法人全体で定期的に作成している写真入りの広報誌送付が行われている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や運営推進会議の場で積極的に家族の意見、不満、苦情を聞くようにしており、また、職員会議や申し送り簿でその内容を共有したきめ細やかな対応がなされている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が認知症のある高齢者であることをふまえ、職員の資質や経験年数等も考慮した職員配置がなされており、職員の異動は最小限の人数となっている。また、職員の異動があった場合でも利用者へのダメージを防ぐよう会議を開き、新任職員をホームの他の職員でフォローする体制ができている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人が実施する研修やグループホーム協議会の研修会に参加しており、研修内容の復命や報告も行われている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム協議会に管理者、ユニット長が参加してネットワーク化を図るようしており、共通課題についての意見交換や情報交換が行われている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とともにホーム軒先のツバメの誕生から巣立ちまでを見守ったり、園芸、野菜や保存食づくり、また、季節行事を利用者と一緒に楽しむことにより、互いに学んだり支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お盆の帰宅希望や不満など、利用者との日々の関わりの中で、その言葉、表情、しぐさからも一人ひとりの思いを汲み取り、職員全員で検討して把握するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人・家族の希望を取り入れ、担当職員が中心となって全職員で定期的に介護計画を検討しており、工夫が取り入れられた個別・具体的な計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の評価が定期的に行われており、利用者の状態変化があった際は、本人、家族とも相談しながら、一人ひとりの希望に沿った新たな計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	ホーム利用前のかかりつけ医に通院することができ たり、また、利用者の状態についての医療機関への情 報提供、医療機関からの結果報告や助言が行われて いる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	状態変化があるごとに、早い段階から本人、家族、かか りつけ医、協力医療機関との連携による情報共有が図 られ、個別支援が行えるようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	利用者一人ひとりの個人情報を守り、それぞれのプライ ドやプライバシーを損ねないよう注意している。また、記 録とその保管は事務室内で行い、外部の人の目に触 れないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な一日の流れはあるが、利用者一人ひ とりの生活パターン、体調、希望に配慮した個別対応 がなされている。		

山形県 グループホームひめさゆり荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に利用者の希望も取り入れる、自家製野菜の調理方法を利用者に教えてもらう、誕生ケーキづくり・テラスでのとうもろこし焼き・屋外での芋煮会を楽しむなど、利用者と職員と一緒に楽しくできるようにしている。また、利用者が座ったまま食器洗いをできる、流しの設備も備え付けられている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者が希望すれば、いつでも入浴は可能であるが、一日3名ずつの入浴が確保されており、また、夏の畑仕事後のシャワーなど、季節や状況に応じた支援も行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	天気や季節にあわせ、庭仕事、畑仕事、ドライブ、買い物、手工芸、カラオケ、パズルなど、利用者とコミュニケーションを図りながら、楽しみごとや気晴らしの支援に取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お花見、白鳥見学、買い物、友人宅への訪問など、利用者の希望や季節にあわせた外出が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	やむを得ず一時的に施錠をする場面もあるが、鍵をかけることの弊害が職員に理解されており、また、センサーの活用や見守りによって、利用者が安全に過ごせるよう取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間を想定した総合防災訓練が利用者も参加して実施されており、利用者の避難場所も確保されている。また、職員への定期的な防災教育、地域との防災時応援協定締結、消防や婦人会の協力を得る取り組みが行われている。		

山形県 グループホームひめさゆり荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事内容・量、水分量が利用者ごとに記録されており、食事摂取が少ない状態が続くような場合には、本人の好みの再確認や食欲が増すおかず作りにも取り組んでいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明が工夫されたリビングには季節の装飾品やソファがあり、温もりとやすらぎを感じながら、ゆったりとくつろぐことができる憩いの場になっている。また、大きな掘ごたつ、床暖房、安全性に配慮した手すりや座イスなど、利用者が快適に過ごすことができる共用空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、クローゼット、テーブル、イスが完備され、やさしい色調で統一された居室内には、使い慣れたダンス、テレビ、冷蔵庫、家族の写真、装飾品などが持ち込まれている。また、利用者や家族の希望や状況に応じて、和室スタイルへの変更も可能である。		